

新潟県の6次産業化 取組事例集

新潟県農林水産部地域農政推進課
令和元年11月

目次

1 農家レストランの取組

フジタファームグループ（新潟市西蒲区）	・・・P1
有限会社 ワイエスアグリプラント（新潟市西蒲区）	・・・P1
有限会社 高儀農場（新潟市北区）	・・・P2
株式会社 A・ファーム雪の十日町（十日町市）	・・・P2
農事組合法人 越後田舎の親類村（長岡市）	・・・P3
株式会社 ソル・グランハ胎内（胎内市）	・・・P3

2 経営体による商品開発等

株式会社 脇坂園芸（阿賀野市）	・・・P4
有限会社 農園ビギン（小千谷市）	・・・P4
ロイヤルヒルホルスタインズ（新潟市江南区）	・・・P5
米倉いちご農園（新発田市）	・・・P5
株式会社 孫作（刈羽村）	・・・P6
鎌田養鶏 株式会社（柏崎市）	・・・P6
有限会社 ケーエスファーム（長岡市）	・・・P7
有限会社 SKフロンティア（糸魚川市）	・・・P7
株式会社 入広瀬（魚沼市）	・・・P8
株式会社 あぐり能生（糸魚川市）	・・・P8
株式会社 神田酪農（阿賀野市）	・・・P9

3 大規模直売所

J A えちご上越 旬彩交流館あるるん畑（上越市）	・・・P10
J A 新潟みらい ファーマーズ・マーケット いっぺこ〜と （新潟市西蒲区）	・・・P10

4 農商工連携の取組

JA新潟みらい かんしょ部会（新潟市西区）	・・・ P11
新潟市北区特産物研究協議会（新潟市北区）	・・・ P11
おぢや食おこし隊（小千谷市）	・・・ P12
越後姫の農商工連携の取組（柏崎市）	・・・ P12
燕三条「畑の朝カフェ」（三条市・燕市）	・・・ P13

5 農観連携の取組

田上町農商工連携地域協議会（田上町）	・・・ P14
松之山農商工連携地域協議会（十日町市松之山地区）	・・・ P14

1 農家レストランの取組

フジタファームグループ（新潟市西蒲区）

【特区・総合化事業計画認定】

- ・ グループ会社（(有)フジタファーム、(有)米工房いわむろ、(有)レガーロ）において、酪農、水稲や飼料作物の生産を行うほか、乳製品の加工、農産物直売所「メルカート」やジェラート店「レガーロ」の運営に取組
- ・ 平成27年、グループ会社や地元農家の所得向上、交流人口の増加による地域活性化に向け、新潟市国家戦略特区を活用して農家レストラン事業に参入することとし、グループ会社等で(株)藤田牧場を設立
- ・ 平成28年、ステーキレストラン「ラ ビステッカ」及び焼肉店を開設（北越銀行 ほくえつ六次産業化応援ファンドが出資）
- ・ 平成29年のレストラン事業は年間来客数が約15,000人



有限会社 ワイエスアグリプラント（新潟市西蒲区）

【特区・総合化事業計画認定】

- ・ 水稲、大豆、いちご等の生産や加工に取り組むほか、農産物直売所、観光農園を運営
- ・ 平成28年、6次産業化部門の強化による経営発展や地域の雇用創出、連携する農業者等の所得向上を図るため、新潟市国家戦略特区を活用して直売所、農家カフェ、加工所及び収穫体験農場を備えた複合施設「そら野テラス」を開設
- ・ 米粉ピザや越後姫を使ったスイーツなど、積極的に新商品の開発に取り組み、農家カフェや直売所で提供
- ・ 「そら野テラス」のスタッフは子育て期間中の女性を多く雇用
- ・ 幅広い年代から好評を得ており、平成29年は、年間来客数が直売所13.8万人、カフェ2.8万人など施設全体で約20万人に上る



有限会社 高儀農場（新潟市北区）

【特区・総合化事業計画認定】

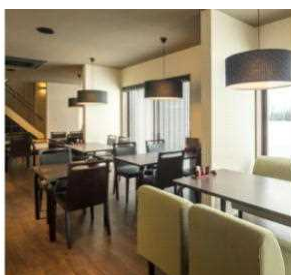
- ・ フルーツトマトの生産・直売に先駆的に取り組み、ドライトマトやソーセージ等の農産物加工のほか、いちご観光農園や農産物直売所を運営
- ・ 平成28年、産地で一番美味しい状態で消費者に食べてもらう“産地直食”の実現と顧客ニーズに対応した新商品の開発・販売により経営発展を図るため、新潟市国家戦略特区を活用して農家レストラン「ラ・トラットリア エストルト」を開設
- ・ フルーツトマトを使ったパスタ、ピザ、ソーセージのほか、自社産米を使った米粉パスタや玄米カレー、越後姫のスイーツ等のメニューを開発して提供
- ・ 平成30年のレストラン事業は、年間来客数が45,000人
- ・ 平成31年春、自家製農産物 直売所【SAGRA】オープン
※SAGRAとは イタリア語で【収穫祭】のこと



株式会社 A・ファーム雪の十日町（十日町市）

【総合化事業計画認定】

- ・ 鏡坂共同機械利用組合において、そば生産や水稲作業受託のほか、耕作放棄地の再生に取り組んできたが、農業者の高齢化や担い手の不足、耕作放棄地の増加等により地域の活力が低下
- ・ 平成28年、「稼げる・暮らせる・未来につながる農業」を目指し、農家レストラン事業への参入を決意し、共同機械利用組合を法人化
- ・ 平成29年、農家レストラン「そばの郷 Abuzaka」を開設し、専属料理人が自社産そばをはじめ、地元産の米、野菜、山菜類などを使った伝統料理やスイーツをbuffetスタイルで提供するほか、ランチ後の時間帯はカフェとして運営
- ・ 平成30年、製粉・製麺施設を整備し、そばの生産から販売までの一貫体系を確立したほか、直売コーナーの品揃え強化のため新商品の開発に取組



農事組合法人 越後田舎の親類村（長岡市）

- ・平成23年、地元食材の活用や雇用の創出、地域の活性化を目指し、農村レストラン・農産物直売所「すがばたけ」を開設
- ・レストランでは、自社産の米や野菜、地元の菅畑にいがた地鶏生産組合が飼養した、にいがた地鶏を使った料理のほか、栃尾名産の油揚げ、店内で打った手打ちそば等の地域食材を豊富に使ったメニューが人気
- ・また、直売所やレストランで販売・使用するため、トマト、ねぎ、長岡菜、ごぼう、山芋等少量・多品目の園芸生産に取り組むほか、地域農業者と連携して品目数を確保
- ・レストラン周辺には水田が広がって四季折々の風景が楽しめ、長岡市内をはじめ県内外からリピーターが多く、夏季の休日で100人程度/日、年間で約1万5千人以上の来客あり
- ・法人は、年間を通じた体験交流イベントの実施や、3,000人以上が訪れる集落の収穫祭も企画・運営し、「すがばたけ」は地域交流の場にもなっている
- ・また、冬季にはスノーモービルを無料試乗できるサービスも行い、子供たちにも人気



株式会社 ソル・グランハ胎内（胎内市）

- ・平成19年、経営の効率化と担い手育成を目的に法人化
- ・食と農の架け橋として、消費者と生産者の顔が見える体験交流の取組を開始
- ・平成26年、常設のコミュニティスペースを設けて消費者交流を更に強化したいとの思いから、農家レストラン「ロッサ・ビエント」を開設
- ・風のようにどこからともなく人が訪れ、バラの花が咲き誇るような幸せな場所になるようにと、「ロッサ（バラ）・ビエント（風）」と名付けた
- ・レストランでは、郷土料理づくりの体験交流や、地域の伝統行事やお祝いの日に食べる特別な料理を提供する行事食フェスを開催
- ・「つくる」と「食べる」をもっと身近に感じられる農家キッチンを目指す



店舗全景



塩結（えんむす）びプレート（一例）